



全日本／ジュニアカート選手権 シリーズ所管団体選定における提案依頼（RFP）

2026年5月22日

一般社団法人 日本自動車連盟



本提案依頼は、一般社団法人 日本自動車連盟(以下、JAF)で検討中の「全日本／ジュニアカート選手権」の運営を行うシリーズ所管団体の選定にあたり、提案者に対し競技フォーマットを含めた更なる選手権振興策の提案を依頼するものになります。

JAFの本企画に対する要望をご理解いただき、全日本／ジュニアカート選手権の運営、振興策の計画をご提案いただきたくお願い申し上げます。

2.法人概要



設立	1963年(昭和38年)2月
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none">・交通安全活動・自動車に係る環境改善活動・故障車、事故車等の救援および移動並びに道路巡回(ロードサービス)・自動車に関する交通法規、税制、保険等に関する調査研究、意見具申、陳情等・災害時非常時における奉仕活動・自動車スポーツの統括その他自動車スポーツ普及振興に関する業務・施設・団体等との連携による諸サービスの提供(会員サービス)
職員数	3,496名 (2025年4月1日時点)
会員数	約2,050万名 (2025年4月実績)
活動拠点数	1本部、8地方本部、52支部
ロードサービス拠点数	200以上 (協力指定工場含む)

2.法人概要



- JAFは、FIA（国際自動車連盟）によって公認された日本のASN（モータースポーツ統轄団体）として、モータースポーツに関する以下の業務をおこなっています。
 - ✓ 規則の制定、施行、管理
 - ✓ 競技のライセンスの発給
 - ✓ クラブや団体の登録
 - ✓ 競技車両の公認や登録
 - ✓ 装備品の公認
 - ✓ 競技コースの公認
 - ✓ スポーツカレンダーの登録
 - ✓ 選手権シリーズの制定、管理、表彰
 - ✓ 競技会の組織許可
 - ✓ 紛争の裁定
 - ✓ 記録の管理
 - ✓ 広報活動
 - ✓ 国際業務

RFP策定の背景と課題認識 ～国内カート競技を取り巻く現状と課題～

本プロジェクト制定の背景は以下の通りです。

- ・参加者減少の課題

日本国内におけるモータースポーツの入門として位置づけされているカート競技人口が年々減少しており、ステップアップ先となるレース等の4輪競技への選手確保の側面からも持続的なモータースポーツ振興策の必要性が高まっています。

- ・ブランド価値の向上

JAFのモータースポーツ振興方針である「トップを光らせ、すそ野を広げる」に基づき、「トップを光らせる」施策として全日本／ジュニアカート選手権の抜本的な変革が必要と判断しています。

これまで全日本／ジュニアカート選手権は、各オーガナイザーを中心に関連団体の方々の尽力により運営され、全日本／ジュニアカート選手権としてのカテゴリーを増加させてきたものの、結果的に参加者の恒常的な増加には至っていません。そこで、現在複数のシリーズで開催されている全日本／ジュニアカート選手権の「単一シリーズ化」を行い、JAFの新たな取り組みとして当該シリーズ全体をプロモートする「シリーズ所管団体」を選定することにより、より参加者目線の意見をフレキシブルに取り入れやすい構造とし、カート競技への参加者の増加および業界の活性化を進め、さらなるモータースポーツ振興を目指します。

RFPの目的

～大会運営一本化と日本最高峰ブランドの確立～

- ・本提案依頼書（RFP）は、2027年シーズンより「全日本／ジュニアカート選手権」「ジュニアカート選手権」の大会運営を一本化することを前提に、そのシリーズ所管団体を選定することを目的としています。
- ・本大会は、日本最高峰カテゴリーとしてのブランド確立、世界へ通用する選手育成基盤の構築、国内カート競技の規模拡大および持続可能な事業モデルの確立を目指すものとなります。

新生全日本／ジュニアカート選手権が 目指す4つの価値 ～競技・ブランド・事業・産業の同時価値創出～

本大会は以下の価値を創出することを目指します。

・競技価値の確立

世界基準の競技フォーマットと公平性・透明性を確保した競技運営体制、FIA/CIKとの接続性の確立された大会を目指します。

・ブランド価値の向上

国内最高峰カテゴリーの位置づけと海外選手誘致で、国際的な認知度と観戦価値を高めます。

・事業価値の創造

スポンサーシップや商業権管理、デジタル技術活用で持続可能な収益モデルを構築します。

・産業的価値の拡大

競技人口の拡大と若手育成で、モータースポーツ産業の発展と地域創生を支えます。

シリーズ所管団体に求める業務範囲 ～大会運営から商業・デジタル領域までの統括～

- 大会企画および年間フォーマット設計
- JAFとの協議を前提とした開催地およびサーキットとの調整、競技運営全体の統括
- スポンサー営業および商業権の管理
- メディア戦略および配信計画の立案・実行
- デジタル施策の企画・運営
- 財務管理および事業報告
- 海外展開戦略の立案
- 参加選手の集客戦略の立案

提案必須項目

1. 競技フォーマット提案

- カテゴリー統合方針
 - クラス構成および開催数（3か年目標数値含む）
 - 開幕までの準備等の事業運営
- ★以下については、想定があればご提案ください。
- 地方戦・グラスルーツとの接続設計
 - 四輪への接続設計
 - Eスポーツの活用・接続設計
 - 国際大会との接続設計
 - 海外選手の誘致施策（3か年目標数値含む）
 - 女性活躍推進策（3か年目標数値含む）

提案必須項目
2. ブランド戦略

- 大会コンセプトおよびネーミング案
- メディア戦略および配信計画
- 観戦価値向上施策

提案必須項目 3. 収益モデル

- 3年間の具体的な損益計画
- 主要収益源の詳細な内訳
- JAFへのライセンスフィー提案
- リスク管理体制

提案必須項目
4. デジタル戦略

- ライブ配信戦略
- データ活用施策
- ファンエンゲージメント施策

提案必須項目 5. ガバナンス体制

- **組織体制図**
- **運営責任者の経歴**
- **コンプライアンス体制**

～想定される契約条件について～

- **契約期間：3年間（更新条項あり）**
- **独占プロモート兼の付与**
JAFのロゴ使用や映像使用権等。詳細については、別途提示されます。
- **ライセンスフィー：年額3,000千円（予定）**
- **中間評価制度の導入**
- **KPI未達時の見直し条項**

評価基準と審査の考え方 ～多面的評価による最適なプロモーター選定～

- ・ ビジョン整合性
- ・ 競技設計力
- ・ ブランド戦略の実現性
- ・ 収益モデルの妥当性
- ・ デジタル戦略
- ・ 組織体制および実行力
- ・ 参加者集客力

選考プロセスと今後の流れ ～RFP公開から契約締結までのステップ～

1. RFP公開と説明会：5月下旬～6月上旬
2. 質疑応答期間：6月上旬～6月下旬
3. 提案〆切：7月上旬
3. 第1次選考（書類選考）：7月中旬
4. 第2次選考（プレゼンテーション形式による審査）：7月下旬
5. 最終決定と契約締結：8月初旬～中旬